

介良まちづくり瓦版

第18号

4年ぶりに開催!

第12回介良川親水公園

介良こども踊り子隊

ふれあいまつり & よさこい祭り

昨年10月29日（日）秋晴れの下、4年ぶりに「介良川親水公園ふれあい祭り」を開催しました。約800名の方々にご来場いただき、大盛況！開催にあたりご協賛・ご協力いただいた団体のみなさま、設営にご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました！

介良川親水公園ふれあいまつり



保育園3園合同の元気いっぱい可愛いダンス♪



市社協のマスコット「ほおっちょけん」はどこでも大人気!

プロ顔負けのアクションを披露し、子どもたちからの大声援を受けた「環境選隊クリーンレンジャー」。高知市環境業務課職員手作りのステージは、クイズ形式でゴミや環境問題について、楽しく学ぶことができました！



よっちょれ!

はじける笑顔！介良こども踊り子隊50名

コロナ感染防止のため、よさこい祭りへの参加を中止していましたが、本年度、地域の皆様方のご協力とご支援を受け、第16回目として、介良小・介良潮見台小・介良中の児童、生徒50名が「第70回よさこい祭り」に参加を果たしました。また、12月には、高知市郷土演芸大会へも参加しました。

今後も介良地域の子どもたちの健全育成を目指し取り組んでまいります。

どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

(介良よさこい踊り実行委員会)



史跡めぐりハイキング



介良まちづくりの会では、毎年2月上旬頃に史跡めぐりハイキング（ウォーキング）を行っています。1年ごとに「平地のコース」と「山のコース」を交互に行い、コース・内容を変更させ、介良地区のたくさんの歴史を学びながら、自然を楽しんでいます。本年度は、2月4日（日）に約50名（参加予定者）で約2時間半の「山のコース」をめぐるハイキングを行う予定でしたが、前日から当日の早朝まで雨が続いたため、安全を優先し、やむなく中止としました。

ガイドの米澤さんによる楽しい解説や、子ども達にはプレゼントもあり、見どころいっぱいハイキングですので、来年もぜひご応募ください！

今回は、予定していた史跡めぐりハイキング「山のコース」について紹介します！



さねもりさま
実盛様



害虫駆除，豊作祈願の虫送り塚。



あきばじんじゅ
秋葉神社



祭神は、火の災いから人を守る「かぐつちの神」。通称、ひびせき様。
静岡県の秋葉神社より勧請，神仏の分霊を請じ迎えてまつられた。



いわやかんののだう
岩屋観音堂



せきぶつじゅういちめんかんぜおんぼさつ
本尊は、石仏十一面観世音菩薩。大慈大悲で人々を救う仏様。



おおやますみじんじゅ
大山祇神社



祭神は、山をつかさどる「おおやますみの神」。通称，山の神様。
瀬戸内海，大三島の大山祇神社より勧請（神仏の分霊を請じ迎えてまつる）。

あさみねじんじゅ
朝峯神社の祭神「このはなさくや姫」の父神である。



あさみねじんじゅ
朝峯神社



うぶすなのかみ
旧介良本村・岩屋・白水地区の産土神で土地の守護神である。

正殿に「このはなさくや姫」，相殿に「あまつひこほのくにぎの命」，大山祇神を合祀する。安産と酒の神として人々の崇敬が厚く，多くの伝承も残っている。
毎年7月10日に夏祭りが，10月の第3日曜日に秋の大祭が行われる。

おおやますみかみ



介良小学校

地域の支えで学ぶ子どもたち

児童が安心・安全な学校生活が送れるよう地域の皆様が力を貸してくださっています。「地域の子どもは地域で育てる」活動が健全育成に大きな役割を果たしています。



介良小×ヘルスマイト



毎年、2年生のイチゴジャム作りと、6年生の食育講座「朝食作り」で、子どもたちに、元気と食の楽しさ・大切さを伝えてくれています。

介良小PTA×青少年育成協議会



夏休み中の「親子木工教室」、秋の「デイキャンプ」など、本校のPTA行事にもご協力いただいています。



介良小×地域パワー = 介良の子どもの学び

介良小×交通安全会議



介良小学校の前は三叉路になっていて、道幅もせまく、朝の登校時は、ヒヤッとする場面が多くあります。寒い日や暑い日にも、子どもたちが安全に登校できるよう、見守ってくれています。

介良小×介良小サポーター



民生・児童委員の有志の方々が、家庭科の学習支援など様々な教育活動に関わってくださっています。



介良小×沖ノ丸環境保全の会 東ノ丸・中ノ丸環境保全の会



介良の美味しいいちご・じゃがいも・大根・お米の収穫体験は、子どもたちが楽しみにしている行事の一つです。また、コスモスやれんげの種まきも体験させてもらい、介良の豊かな風景をつくるお手伝いをさせてもらっています。



介良潮見台小学校

介良潮見台小学校は、「心豊かに学びあい育ちあう介良潮見台の子」を学校教育目標として、仲間と協力したり支え合ったりしながら児童自身が主体的に学びに向かっていけるよう支援をしています。授業時間だけでなく休み時間等にも一生懸命に練習して臨んだ「学習発表会（風フェスティバル）」の様子について紹介をします。

風フェスティバル



11月11日（土）に学習発表会（風フェスティバル）を開催しました。本年度は各学年が合唱と合奏の2曲を発表しました。午前中は、全学年が体育館に集合し、和太鼓クラブの力強い演奏を聴いた後、1年生から順番に舞台上がって練習の成果を発表しました。どの学年も一生懸命に頑張ろうとする気持ちが態度や音楽に表れていました。聴く時の態度も立派で、舞台上の児童に合わせて体を揺らしたり、右手を上げたりしながら音楽を楽しんでいました。PCTA有志の皆様には「つばめ」を歌っていただきました。PCTA会長の呼びかけで、たくさんの児童と一緒に「つばめ」を歌ってくれました。教員合奏も子どもたちがノリノリになって盛り上げてくれました。全校合唱では、全員で手話による「ありがとうの花」を歌い、みんなの気持ちが一つになりました。最後は6年生が発表をし、会場からアンコールの声があがり、大いに盛り上がりました。そして、6年生から、「来年度も素晴らしい風フェスティバルにして欲しい」とのメッセージがあり、午前の部が終了しました。

午後からは保護者や地域の皆様をお迎えし、学年ごとに体育館に入って演奏を行いました。児童は歌や楽器の演奏はもちろんのこと、入退場や曲の合間の入れ替わりなどもしっかりと練習をしており、その成果が堂々とした発表態度にも表れていました。本年度は、入場制限をせずに保護者や地域の皆様をお迎えしましたので、体育館内の混雑を心配したのですが、PCTA役員の皆様に場内整理や誘導をしていただいた結果、混乱なくスムーズな運営ができました。

たくさんの皆様に支えていただきながら、「心を一つに、笑顔の風フェスティバルにしよう」を目標にして、全学年が一つになって頑張った風フェスティバルでした。仲間と協力をして一つのことを成しとげる喜びを感じることができた一日として、児童の心に残る素敵な一日になりました。これからも、共に学びあい育ちあう仲間として、一人ひとりが輝くことができる機会をたくさん作っていきましょう。保護者の皆様、地域の皆様、温かい応援をありがとうございました。



歌に合わせて拳を突き出す児童



PCTA有志と一緒に合唱



6年生のメッセージを聞く児童



手話による全校合唱

介良中学校

体育祭

9月16日(土)

不撓不屈~never give up~



保護者・地域の皆様に見守られながら、介良中学校体育祭が盛大に行われました!



観戦におけるこれまでのような制限もなく、必死に競技に向かう姿に、生徒からも観戦の皆様からも、たくさんのあたたかな声援や元気、さらにパワーをいただき勝利に向けて頑張ることができました。

学年種目の1年生ワープリレー、2年生イス渡りリレー、3年生大縄跳びでは、各クラスが担任の先生とクラスのみんで団結し取り組めたことが心に残りました。

全校で取り組んだ応援合戦では、3年生のリーダーが丁寧に指導してくれたことで、短期間ではありましたが、どの色も素晴らしい応援を披露することが出来ました。



文化祭

10月13日(金)

心をヒトツに 個性輝け 九つの星

この日のために1学期から準備を進め、各クラスが金賞を目指し取り組んだ「合唱コンクール」では、3年生が圧倒的な力の差を見せつけてくれました。1、2年生も金賞を目指し取り組み、聴いている人の心に残る合唱を披露することが出来ました。弁論大会では全員が夏休みから取り組んだ弁論の中から、学級・学年弁論大会を経て代表となった3名が堂々と自分の思いや考え、みんなに伝えたいことを発表することが出来ました。最後には吹奏楽部の楽しい演奏に生徒も先生も笑顔になる、そんな素敵な時間が体育館中にあふれ、心に残る一日となりました。



人権講演会・PTA食堂

11月5日(日)

人権参観日のこの日、お昼ご飯はPTAの方々が企画運営してくださった「PTA食堂」で楽しい時間を過ごすことが出来ました。おにぎりや唐揚げ、パンやアイスクリンなど、給食とはまた一味違ったお昼ご飯。笑顔があふれました。午後からはLGBTQに関する講演活動を行う暁project 代表の大久保暁さんを迎えて、「自分らしい生き方」を考えるきっかけをいただきました。



避難所開設訓練

11月16日(木)

介良中学校防災連合会や高知市、地域の皆様の協力の下、毎年行われている「避難所開設訓練」が行われました。生徒会8名は2学期に入って事前学習を行い、自分がリーダーとしてどう動くのかのイメージを高め、当日、各クラスのメンバーをリードすることが出来ました。各リーダーも自分の役割を認識し、素早い行動をとることが出来ました。毎年この訓練を通して、いざという時の備えの大切さと、実際に自分たちがどう動けばいいのか、地域の担い手としての意識を高めるきっかけになっています。たくさんのご協力ありがとうございました。



高知市社会福祉協議会

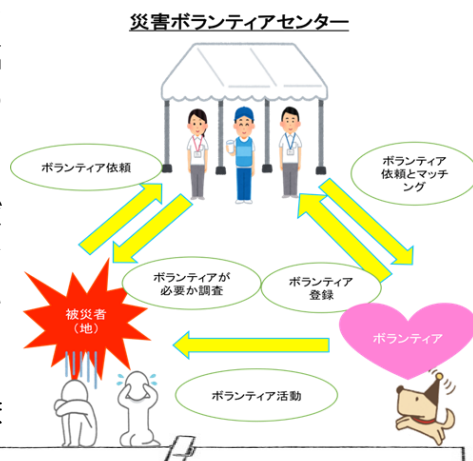
災害ボランティアセンターをご存知ですか？

令和6年1月1日（月）に石川県能登半島にて大規模地震が発生し甚大な被害がおきました。高知県でも南海トラフ地震のこともあり自分ごとに考えた方も多いのではないのでしょうか。

災害時に被災地のボランティア活動を円滑にする為の拠点として災害ボランティアセンターがあり、公的支援や住民の助け合いでは補いきれない困りごとをボランティアの力を借りて被災者の自立、生活再建を支援します。社会福祉協議会では、災害が起きた際、災害ボランティアセンターの立ち上げ、運営をする役割を担っています。

今後、大規模災害が起き被災した際には、困りごとやボランティアが必要な場合『助けて』と言うことや、何かできることがあれば『任せて』と言えるお互い様の気持ちや支え合いが大切になってきます。高知市社会福祉協議会では皆さまの困りごとや活動したい思いを繋げるために一緒に協働していけるよう努めていきたいと思っています。

活動にご興味がある方や、知りたい方、自治会、団体等おられましたらお気軽にお問い合わせください。



【問合せ先】 高知市社会福祉協議会 地域協働課
TEL：088-823-9570



このたびの災害により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。被災県ごとに義援金受け入れ窓口を設けておりますので高知市赤い羽根共同募金事務局（TEL:088-823-9570）までご連絡下さい。皆さまのご支援、ご協力お願いいたします。

高知市大津・介良地域包括支援センター

新しく生活支援コーディネーターという位置づけで職員が加わりました



初めまして。宮地真樹と申します。簡単な自己紹介です。
好きなことは体を動かすことです。といっても走ることは苦手ですが、バレーボールに関しては学生のときからだっ・20年以上やっています。唯一、続いていることです(笑)
他には食べることも好きですので、新しいお店巡りも趣味の一つです。
介良の皆さん、地域を回った際にはどうぞよろしくお願ひ致します♪

令和5年11月より、生活支援コーディネーターとして、高齢者を支える地域支えあいの体制づくりを推進するために配置されました。（これで、当センターは5名体制となりました。）

生活支援コーディネーターとは

今後、「団塊の世代」が75歳以上となる2025年を目途に後期高齢者の増大が見込まれ、それにつれて介護を必要とする方も増えることが予測されます。今後の持続可能な介護保険の運営のために、要介護状態となることの予防または要介護状態などの軽減もしくは悪化の防止（介護予防）、地域での自立した日常生活の支援（地域での支えあい）が重要になってきます。

そんな中で、生活支援コーディネーターは、高齢者の方が住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう、住民主体の活動をはじめとした多様な資源の充実に向けて地域づくりを行っていくことを担っています。その中で、社会参加と生きがいづくりを進め、居場所づくりや介護予防の取り組みなど、地域の方々のつながりあい、支えあいのお手伝いをさせていただきます。

現在、介良地域ではいきいき百歳体操の会場や宅老所など高齢者の方が集まる場所があります。そのような活動の場に参加させて頂き、日常の困りごとや、新たな活動の場を住民主体で進めていけるようサポートするとともに、皆さんと一緒に考える役割を担っていきたくと思っています。不慣れなことも多々あると思いますが、地域住民の方々の声を聞きながら、一緒に支え合える地域づくりを目指していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

【問合せ先】 高知市大津・介良地域包括支援センター TEL：088-802-5110

介良西部保育園

いろんな遊びをして楽しんでいるよ

こんにちは、介良西部保育園です。

12月には異年齢交流を大切にしながら、お店屋さんごっこ・レストランごっこ・クリスマス会などの楽しい行事があります。お店屋さんごっこは、子どもたちがみんなで商品を作ったり、やり取りを試みたりするなど、園全体で取り組み楽しむことができました。年中・年長児は、どんなお店にするのか、友だち同士で相談し、協力してお店を作り開店準備をしています。子ども達のアイデアは凄いですね。

12月6日(水)に、年中・年長児がお店屋さんをオープンし、各クラスで作ったおもちゃなどを売りました。紙のお金を握りしめた子どもたちを、お兄さん、お姉さんたちが優しく「いらっしゃいませ。」と迎えます。「このネックレス、似合いますよ。」と選んであげたり、「これは腕にはめてください。かわいい時計だね。」と小さい友だちに説明したりしながら、優しく接客をしていましたよ。かわいいお客さんたちは笑顔ははずませながら、ふくらんだ買い物袋を持って、うれしそうにしています。

自分たちのお店を楽しんでもらいたいとの思いが年中・年長児の生き生きした表情に表れ、小さい年齢の子どもたちも喜びの表情で呼応して、とても楽しい1日となりました。いろいろな体験を通してイメージや言葉を豊かにしていきながら、様々な経験ができるようにしていきたいと思っています。ぜひ遊びに来てください!



中野保育園

寒さに負けず、元気に遊んでいるよ

皆さん、こんにちは。中野保育園です。

日頃から、子どもたちのためにご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。

去年はコロナ明けの運動会で、子どもたちが元気いっぱい園庭を走ったり、踊ったり、跳び越えたりして、みんなで運動会を楽しむことができました。

今年も寒さに負けないで、自分で作った凧をあげたり、コマ回しに挑戦したり、お友だちや保育士と羽根つきを楽しんだりして遊んでいる子どもたちです。また、長なわとびを跳ぶのが楽しくなっている子どもたちもいます。毎日繰り返し遊んでいるうちに、より面白くなってきているようです。『♪ゆうびんやさん、ゆうびんやさん・・・』の歌に合わせて心も体も弾んでいます。その他、お団子づくりや砂遊び、ジャングルジム、ブランコ、すべり台、三輪車など、それぞれがやりたいことや憧れていることに挑戦しています。

これからも中野保育園をどうぞよろしく願いいたします。



愛善保育園



元気いっぱい遊んでいるよ

こんにちは、愛善保育園です。

12月のクリスマス会にはサンタクロースさんがプレゼントを持って保育園に来てくれました！サンタさんと握手をしたり、タッチをしたりと大喜びの子どもたちでしたよ♪お礼に子どもたちからクリスマスの踊りをプレゼント♪ステキなクリスマス会になりました。

年末のおもちつき！年長組さんがお餅をつくのを見て、小さいクラスでは手作りのきねとうすでぺったんぺったん餅つき体験！きねにくっつき伸びるおもちが本物みたいで楽しいな♪良い一年になることを願って・・・。



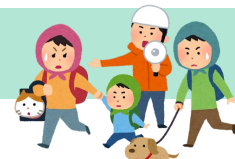
愛善保育園は異年齢交流を大切にしながら楽しく活動しています。優しく声をかけてくれたり、遊び方を教えてくれたり、いつもおにいちゃん、おねえちゃんと一緒に遊べる環境があります。

子ども同士の関わりの中でたくさんの発見があり、思いやりの気持ちも育っていきます。これからも異年齢での関わりを大事にしながらみんなで楽しく過ごしていきたいと思っています。

ぜひ遊びに来てくださいね♪



介良小学校区防災連合部会



介良小学校で避難訓練と避難所体験を実施しました

令和5年11月5日（日）10時に南海トラフ地震の発生を想定した訓練放送が防災行政無線から流れると、周辺地域の皆さんはまず介良小学校の屋上に一次避難しました。大津波警報が解除され、避難所となる体育館が被災していないという想定のもと、次に屋上から体育館に二次避難しました。受付で避難者名簿に記入した後、小学生は防災かるた・防災クイズ、大人は間仕切り・簡易トイレ・段ボールベッドの組立訓練に分かれて実施しました。その後、体育館から出て消火訓練・煙体験を実施し、ピロティでバッククッキングの説明を受け、非常食のサバカレーの試食とアルファ米の配布を行い、順次解散しました。



高知工科大学KPADの3名が子どもたちと一緒にゲームに取り組みました。



介良消防分団の皆さんが水消火器を使った訓練を実施しました。



ヘルスメイトの皆さんが非常食試食体験を実施しました。



高知東消防署東部出張所の皆さんが煙体験を実施しました。

避難者名簿には63名の記入がありました。地域の皆さんの防災意識向上が課題となっています。お住いの家屋の耐震対策、家具の転倒防止は万全ですか？自分の命は自分で守ることが第一です。地域の皆さん、引き続きこの訓練に是非参加してください。

※介良中学校では避難所開設訓練を実施しました。その様子は5ページをご覧ください。



介良体育会

介良地区民のための体力測定

毎年のメインイベントである介良地区民運動会は住民アンケートを実施し参加を募りましたが、コロナ禍から続く各行事中止の影響と各地域の高齢化の為、予想以上に参加希望者数が少なく、中止といたしました。



代替行事を模索し、子どもから高齢者まで幅広く参加ができる「介良地区民のための体力測定」を実施しました。初めての試みで不安な部分もありましたが、最高齢82歳、15名の参加があり、体力・筋力・肺活量などの測定や、レクリエーション競技も取り入れ実施しました。

平均値（参考値）を確認しながら自身の測定結果とにらめっこする場面もみえました。健康寿命を維持・向上するためには基礎体力や筋力の維持が必要不可欠です。体力測定の結果を基に来年度の地区民運動会実施に向けて、参加者から頂いた意見を活かし、走らなくてもできる競技内容を見直し認知度を上げ、参加者をもっと増やしていきたいと考えています。

体育会の行事に是非ご参加をお願い致します。



介良潮見台体育会

第1回モルック大会

体育会主催の秋の恒例行事‘校区ふれあい運動会’はコロナ禍で中止が続き4年目となる昨年も開催の気運が高まらず、代わりとして‘第1回モルック大会’を行いました！

モルックは子どもから高齢者まで楽しめる簡単なスポーツです。参加者全員が初心者でしたが、中学生から80代までの幅広い年齢層が集い楽しく交流しました。

棒(モルック)を投げて木製のピン(スキットル)を倒し点数を競うというシンプルな競技のもと、お互いの名前やニックネームを呼び合い、笑いとお声で大いに盛り上がりました。参加者から「とても楽しかった」「初対面同士と思えないほど親近感が沸いた」「これからも続けてほしい」という声上がり、第2回も開催の予定です。

今後、少子高齢化や役員不足等のため、コロナ禍前の‘校区ふれあい運動会’を開催するのは難しいかもしれませんが、モルックのように世代を超えて少人数でも気軽に楽しめるスポーツやレクリエーションを通して、地域交流の場をつくっていきたいと考えています。



●企画・編集／介良まちづくりの会

●発行責任者／仲本 英生

●連絡先／介良ふれあいセンター（☎ 088-860-0301）

高知市地域コミュニティ推進課（☎ 088-823-9080）